

12月11日（水）

わたしは、あなたのために労している。

わたしのもとに、あなたが気にかけていることをすべて携えてきなさい。あなたの夢も忘れずに一。

何もかもわたしに話して、わたしの希望や計画がわたしの光に照らされるように……。

わたしの光があなたの夢を活気づけ、しだいに現実に変えていく時間を過ごしなさい。

これはわたしと協力して夢をかなえる、とても実現的な方法だ。

わたしは天地万物の創造主であるけれど、身を低くしてあなたとの共同作業にあたっている。

この進行を急がせようとしてはならない。

あなたがわたしと一緒に働きたいと思うなら、わたしの時間枠を受け入れる必要がある。

急ぐことは、わたしの本質ではない。

アブラハムとサラは、息子を与えるというわたしの約束が成就するまでに、何十年も待たなければならなかった。

創世記 21:4

そしてアブラハムは、神が命じられたとおり、生後八日になった自分の子イサクに割礼を施した。

創世記 21:5

アブラハムは、その子イサクが彼に生まれたとき、百歳であった。

創世記 21:6

サラは言った。「神は私に笑いを下さいました。これを聞く人もみな、私のことで笑うでしょう。」

創世記 21:7

また、彼女は言った。「だれがアブラハムに、『サラが子に乳を飲ませる』と告げたでしょう。ところが私は、主人が年老いてから子を産んだのです。」

ヘブル 11:1 (AMP)

さて、信仰は、望んでいることを保証し、目に見えないものを確信させるものです。